

令和5年度 有馬幼稚園 外部評価報告書

評価委員：中野耕佑（委員長）、宮崎弘次（副委員長）、矢川春文委員、深山健太郎委員、中多宏之委員、坂野泰士委員、森功次委員、宇多清二委員、吉岡輝元委員、鈴木一也委員、菊池理良委員

報告書作成者：菊池理良委員

評価時期 令和6年1月

1 重点目標の評価

重点目標1

- ・子どもが自分から挨拶をするようになるために、一番身近にいる保護者にも自分から挨拶をすることが増えるように働き掛けていく必要がある。また、園内でも子どもが自分から進んで挨拶することに一層力を入れ、挨拶に関わる項目について教員が全員A評価できることを目指してほしい。

重点目標2について

- ・今年度の周年行事の取組では、子どもたちに周年ならではの特別な体験を提供できたことが保護者の評価にもつながっている、と感じた。周年行事の取組をバックアップしたPTAも学校との連携、地域との連携が深まったようなので、このつながりを今後に生かしていくとよい。

重点目標3について

- ・ルクミーで情報が発信されるようになり、保護者は便利になったと思う。ルクミーは導入されて数年なので、家庭からの連絡の仕方や決められた時間までの入力など保護者の利用の仕方も徐々に改善されていくと思われる。その様子に合わせて、今後の活用を考えるとよい。

2 今後の改善に向けた意見

- ・ルクミーで発信される情報について、中には紙の方がよいという声もあるようだが、個別対応するよりもこの情報はルクミーに一本化、としたほうがルクミーの利用が浸透するのではないか。

3 その他の意見

- ・ICTの活用が進んでいるが、子どもが人と直接関わる中で様々な感情を体験する、というようなことが失われないようにしてもらいたい。何か調べる時にも検索して済ませるだけでなく、本を読むこと、読んで理解をすることも大切にしてほしい。
- ・周年行事の取組をバックアップしたPTAも学校との連携、地域との連携が深まったようなので、このつながりを今後に生かして欲しい。